

### 目 次

次回大会予告 .....	1	選挙管理委員会より .....	3
大会シンポジウムのねらい .....	2	幹事会報告 .....	3
会場へのアクセスと宿について .....	2	会員の活動 .....	4

別冊：日本女性学会セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント防止規程（案）1-6

## 次回大会予告

2004年6月12日(土)・13日(日)

於 鳥取県男女共同参画センターよりん彩

(倉吉市駄経寺町212-5 県立倉吉未来中心内)

## シンポジウム：ウーマンリブが拓いた地平

### 大会日程

- 一日目 6月12日  
13:00~16:30 シンポジウム  
その後総会、懇親会
- 二日目 6月13日  
9:30~11:30 個人研究発表  
(リブ関係部会を含む)
- 12:30~15:00 ワークショップ  
〔「政策決定への女性の参画が生み出すもの」  
(鳥取県女性センターよりん彩・女性学会の  
共催)、「当事者に聞くリブ」部会 を含む〕

### 個人研究発表とワークショップの 申し込み受付中!

タイトルと発表の概要(200字程度)・発表時に使用する機材(機材は希望にそえない場合があります)を、3月20日までに、ニューズレター担当の牟田までメールかファックスでお願いします

メール: [muta@hus.osaka-u.ac.jp](mailto:muta@hus.osaka-u.ac.jp)  
ファックス: 075-353-5511

個人研究発表では、ウーマンリブをめぐる部会を設ける予定ですので、このテーマの発表もふるって応募下さい。

### 大学院生等への旅費補助について

ワークショップ、個人研究発表をされる方で、学生・院生・OD他、常勤職についておられない方には、学会より旅費の補助をします(総額10万円を、人数と距離に応じて配分しますので、各人にどの程度の額になるかは未定です)。希望される方は、報告の応募の際、「旅費補助希望」の旨明記して下さい。

# 大会シンポジウムのねらい

キーノートスピーカー：田中美津      コーディネーター：秋山洋子  
 パネリスト：中野冬美、原田恵理子、千田有紀、菊地夏野（いずれも予定）

ウーマン・リブ運動は、戦後の女性運動のパラダイム転換を成し遂げ、現在のフェミニズム運動と女性学の原点である。

ウーマン・リブ運動が蒔いた種は、国際女性年（1975年）に始まる国連女性の10年を経て、全国各地で女性たちの活動として芽を出し、女性学を生み出した。また、フェミニズムの主張の一部は市民権を得て、政府や自治体の政策課題となった。

しかし、フェミニズムの主張が制度化されるにつれ、とくに2000年を過ぎてから、反動勢力からのフェミニズム・バッシングが顕在化してきた。それは、教育、個人情報、有事、少子化等に関わって右傾化を強める時代情勢の一部であるに違いない。

こうしたバッシング、それを一角とする社会情勢に対峙し、まさにフェミニズムが問われている…フェミニズム理論は運動にいかにか有効か、変革の学・行動の学として生まれやがて制度化、専門分化されてきた女性学はどうか。

今回のシンポジウムは、ウーマン・リブ運動が拓いた地平を、その後のフェミニズム運動と女性学がいかに継承・発展させ得たのかを検証する試みである。世代も活動地域もテーマも多様だったウーマン・リブ運動を担った当事者から生の声を聞き、経験を共有するとともに、直接の担い手でない世代、立場から議論を加え、変革への力につなげたい。

はじめに、リブ新宿センターの田中美津さんにキーノート・スピーチをしていただく。それを受けて、それぞれの地域、テーマで運動をしてこられた中野冬美さん（交渉中）、原田恵理子さん、ウーマン・リブ運動が始まったあとに育った世代であり、ウーマン・リブ運動と違う出会い方をしてこられた千田有紀さん、菊地夏野さんをパネラーに、そして、『リブ私史ノート』を執筆された秋山洋子さんをコーディネイターに、ディスカッションを行う。

（担当幹事 内藤和美）

## 会場へのアクセスと宿について

鳥取県立倉吉未来中心のホームページ<http://www.pref.tottori.jp/mirai/>の案内図をご活用ください。

### 最寄り駅 JR倉吉駅

（JR）大阪から智頭急行で3時間30分、岡山から智頭急行経由で2時間40分

（バス）大阪・神戸から特急バスで約4時間、広島から3時間40分

JR倉吉駅から会場へは、バスで約12分

鳥取空港から倉吉まで バス1時間

### 宿泊について

JTBに大会参加者向けに次の宿・プランを用意してもらいました。

A・Bは、三朝温泉。学会参加者同士3名程度の相部屋。（3名以上の仲間で申込みば、仲間だけの部屋割り）

C・Dは、個室。

#### 宿泊先リスト

記号	利用宿舎	食事条件と旅行代金（一人あたり）		会場より
A	依山楼岩崎	1泊朝食付	18,000円	タクシーにて15分
B	木屋旅館	1泊朝食付	10,000円	
C	ホテル・セントパレス倉吉	1泊朝食付	7,400円	タクシーにて10分
D	倉吉シティホテル	1泊朝食付	6,400円	タクシーにて5分

#### 羽田空港利用の宿泊・往復航空機セットプラン：一人あたりの旅行代金

記号	利用ホテル	旅行代金
6/11 (土)	羽田空港(07:10頃) ⇒ 航空機(ANA293便) ⇒ 鳥取空港(08:30頃) 着後、各自公共交通機関にて倉吉未来中心へ	55,000円
	学会終了後、各自公共交通機関にて鳥取空港へ 鳥取空港(19:55頃) ⇒ 航空機(ANA300便) ⇒ 羽田空港(21:05頃)	47,000円
6/12 (日)	学会終了後、各自公共交通機関にて鳥取空港へ 鳥取空港(19:55頃) ⇒ 航空機(ANA300便) ⇒ 羽田空港(21:05頃)	44,400円
		43,400円

注：通常の航空運賃は、往復54,000円ですので、だいぶ割引になっています

いずれについても、詳しい情報と申込用紙を女性学会HP <http://www.joseigakkai-jp.org/> の「大会案内」でダウンロードするか、下記までファックスで請求の上、必ず申込用紙を利用してファックスで申し込んで下さい。

情報請求・申込・問い合わせ先

JTB米子支店

「日本女性学会 鳥取県大会」係

担当：石尾 tel 0859-33-5466 fax 0859-34-0171  
yonago\_pn1011@kns.jtb.co.jp

申し込み締切 2004年 5月 10日 (月)

### ●保育について

会場には一時保育のための施設があります(1時間900円くらいを予定)。希望者は、事前にファックスで、日本女性学会事務局 047-370-5051まで、連絡先と子供の年齢・保育希望の日時を明記の上、申し込んで下さい。

### 研究会予告

大会シンポジウム

「ウーマンリブが拓いた地平」に向けた研究会

日時 2004年3月27日(土) 1時～3時

お茶の水女子大学生活科学部本館大会議室

発題者 交渉中

運営 秋山洋子、内藤和美

### ■選挙管理委員会より

日本女性学会選挙管理委員会では、来る3月に第13期選挙選出幹事の選挙を実施すべく準備をすすめています。この選挙は日本女性学会の会員すべての方に選挙権があります。立候補制はとらず、10名連記式です。3月初めに名簿と投票用紙など各会員にお送りしますので、指定期日までにご投票ください。選挙は2年に一回ですので、選挙権を行使されますようお願いいたします。

なお、選挙管理委員について、本来2003年6月に開催された日本女性学会総会でご了承いただくことになっていたのですが、選管選出の段取りのミスにより、できませんでした。そこで、2003年9月に開催された第9回幹事会で選管候補5人を選び実質的な改選作業を進め、今年度総会の冒頭で選管候補の追認の可否を問う、ということにしました。現在、以下のメンバー構成で選挙人・被選挙人名簿の改訂、選挙のための準備をすすめています。(橋本)

選挙管理委員(50音順)：

秋山 洋子、須川 亜紀子、橋本 ヒロ子  
細谷 実、山崎 明子

### ■幹事会報告

#### 第12期第10回幹事会

2003年11月24日 14時～17時

於お茶の水女子大学生活科学部会議室

#### 報告・協議事項

##### 1. 選挙管理委員会

- 1) 名簿用ハガキの返信のないもの、○×記載の無いものは、現状通りの記載とする。
- 2) 今回選挙管理委員選定など手続き上のミスがあったので、今後このようなことのないよう、手続きマニュアルを作る。

##### 2. 研究会 バックラッシュ対応関連研究会を

- 1、2月にもつ。

##### 3. 学会誌

- 1) これまで、投稿論文不掲載者への通知の際、査読者のコメントをそのまま通知する場合とそうでない場合とがあったが、それでは投稿者に納得がいかないなどの問題が聞かれるので、今後は、不掲載者にも全員に査読コメントを知らせ不掲載の理由を通知する。

- 2) 投稿を、論文か研究ノートのいずれの取り扱いにするかについて明確化する。

近い将来、内規を作る。

##### 4. 事務局

会員数713名(11月24日現在)

ジャンクメール対策のため、メールアドレスは非公開とし、一般からの連絡はファックスのみとする。

##### 5. 次年度大会について 詳細は本紙参照

##### 6. 規約改正について

- 1) バックラッシュ対策のため、新入会には2名の推薦を必要とするよう改める(第5条)。
- 2) 会員種別を、現行の「個人会員」「賛助会員」から、「個人会員」と「ニュース講読会員」に変更する。

この2点を改正点として次回大会に規約改正を提案する。

##### 7. 入会申し込みについて

- 1) 6. の規約改正が承認されるまで、新入会員のチェックは幹事が対応する。
- 2) 申し込み性別欄は不要ではないかとの意見がある。幹事会としては、これに賛同するが、しかし、日本学術会議から会員の性別構成データが求められるという事情もあるため、性別は任意記入とし、この事情を注記する。

##### 8. 日本女性学会セクシュアル・ハラスメント防止規程について 本紙参照

##### 9. バックラッシュMLについて 庶務の田中さんに専任担当としてお願いする。(記録：牟田)

## 第12期第11回幹事会

2004年1月24日 13時20分～17時

於お茶の水女子大学生生活科学部会議室

### 報告事項

1. 名簿の進捗状況 2月末に発送予定
2. 大会準備 詳細は本紙参照
3. 研究会 別項参照
4. 事務局から  
業務委託契約 特に契約条件に変更なく自動延長  
入会希望者の承認

### 審議事項

1. 大会 報告事項参照
2. セクハラ防止規程 倫理綱領案について検討  
NLを通じて会員から意見を募る、研究会を開催する、等を通じて検討を加え、6月の総会で審議決定する。
3. 会費値上げ  
事業拡大により、予備費として持っている資産を食いつぶしている。

### 赤字の要因：

- ①HPの開設と維持
- ②幹事や大会講師の交通費の負担（大会の下見、会員外講師への旅費・最低謝金の手当て）
- ③2000年より全幹事に幹事会出席交通費を支払うようになったため、幹事会活動費が2000年より20万円増加。
- ④大会で報告する院生への旅費支給
- ⑤会員の増加に伴う必要経費の増加 事務局経費の増加（発送事務の増加など）

### 会計からの提案：

他の学会と比べて6000円の会費は安いので、他学会とあわせる。但し、学生は据え置き。

案：一般会員 8000円 院生・非常勤 6000円

シミュレーションをして会費値上げの必要性を述べた資料を会計が次回提出。

4. 学会時保育 本紙参照

(記録：橋本)

### 次号ニュースレターの発行は5月です。

ご意見や「会員からの情報」など、掲載希望がありましたら、4月10日までに次号担当の伊田までお送り下さい。

メール：idak@center.osaka-wu.ac.jp

ファックス：075-791-9273

## ■学術会議講演会のお知らせ

ニコル・ドゥワンドルEU研究総局(女性と科学)部長講演会

日時 2004年2月23日(月)午後3時～5時

場所 日本学術会議大会議室

(地下鉄千代田線乃木坂下車すぐ)

演題 EUの科学技術政策におけるジェンダーの主流化  
-EUの経験と日本への提言-

## ■会員の活動

### 出版物

稲木妙子、上野和子、吉原令子他

『行動するフェミニズム—アメリカ女性作家と作品』

新水社

四之宮玲子 『女性・人間関係・ジェンダー』

八千代出版

夏刈康男・宮本和彦・四之宮玲子ほか

『児童虐待・DV』

八千代出版

### 展覧会

「オンナの神話・オトコの神話」展

日時：2004年2月24日(火)～3月14日(日)

12:00～19:00(日曜日は17:00まで)

3/1と3/8は展示替えの為休廊

場所：ぎやらりーヒルゲート

京都市中京区寺町通り三条上ル西側

tel 075-231-3702(事務所)、252-1161(画廊内)

ギャラリートーク 3月13日(土) 14:00～16:00

清東節江/ふじみつこ/内藤千文 進行：西山千恵子

### 幹事会企画 バックラッシュ研究会のご案内

テーマ：地方自治体と男女共同参画

場所：お茶の水女子大学生生活科学部本館会議室  
(正門入って正面の建物の3階)

日時：2004年3月30日(土) 午前10時～12時

定員：15名(女性学会会員とその同伴者に限定)

参加希望の方は、必ず予約を「橋本」宛と明記して  
048-478-9367にファックスで入れてください。  
満員になった場合は、後ほどその旨ご連絡しますが、  
悪しからずご了承下さい。